



2019 第28回 日本海藻協会シンポジウム

温暖化時代に国産海藻資源を確保できるか!?

日 時： 2019年10月11日(金)13:30-16:45
会 場： 東京海洋大学楽水会館1F大講義室(東京都港区港南4-5-7)
参加費： 無料(講演要旨集は会員のみ無料, 会員外は1,000円)
主 催： 日本海藻協会

12:15 - 13:15 総会 (会員のみ: 楽水会館2F小会議室)

13:15 シンポジウム開場

司会 日本海藻協会理事長 鈴木 実

13:30 - 14:00 開会のあいさつ 続いて

日本沿岸の温暖化と海藻養殖

日本海藻協会会長 藤田大介

14:00 - 14:30 沖縄モズクの生産状況の推移と現況

カネリヨウ海藻 鈴木祐介

14:30 - 15:00 早摘モズク生産への取り組みと温暖化への懸念

沖縄県伊是名漁協 伊禮政美

15:00 - 15:10 休憩

15:10 - 15:50 養殖ノリの品種改良の現状と温暖化に向けた今後の課題

東京海洋大学大学院 二羽 恭介

15:50 - 16:30 ワカメ養殖における温暖化適応技術と生長特性評価

国立研究開発法人水産研究・教育機構, 水産大学校 村瀬 昇

16:30 - 16:50 会員交流の時間

閉会のあいさつ

17:00 ~ 懇親会 (4,000円/人, 学生2,000円/人) 正会員1名無料

<企画趣旨>

日本近海は地球温暖化のホットスポットの一つとなっており、沿岸の水温上昇が顕著で、海藻資源に与える影響も深刻になっています。実際に、各地で天然藻場の衰退が続いているだけでなく、食卓に上る海藻の確保も危ぶまれています。海藻は、日本食の中でも極めて重要な位置を占め、世界が注目する健康食材です。海外からの輸入を増やすだけでいいのか？今回は、温暖化が進行する中で、国産の海藻資源の確保に向けてどのような対策が可能なのか、生産の現場と研究の現場から探ってみたいと思います。

参加者は、所属、懇親会の参加の有無も書き添えて、10月4日(金)までにお申し込み下さい。
シンポジウムのみの参加者も、可能な限り、事前申し込みをお願いします。

申し込み先・問い合わせ先: 日本海藻協会事務局(鈴木 実)

E-mail: info@japan-seaweed-association.com

2019年 8月 30日

日本海藻協会
事務局宛

2019年度

第28回 日本海藻協会シンポジウム参加申込書

2019年10月11日（金）開催の第28回日本海藻協会シンポジウム

シンポジウム ・ 懇親会 に参加します。

（ご参加いただけるものに○をつけてください。）

氏名： _____

団体名： _____

所属又は役職： _____

E-mail アドレス： _____

複数でご参加の場合は、代表者様のみ上記にご記入をお願い致します。

その他の方は、恐れ入りますが下記にご記入をお願い致します。

（シンポジウムと懇親会欄には、参加:○、不参加×をご記入ください。）

氏名	所属又は役職	シンポジウム	懇親会	E-mail アドレス

合計参加人数： _____ 名

お願い： 本紙は **10月4日（金）17時までに協会事務局宛に必ず e-mail (info@japan-seaweed-association.com) にてご返信くださいませ。**